

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「中小型成長株オープン（愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン）」は、このたび、第2期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第2期末(2015年3月4日)

基準価額	12,544円
純資産総額	254百万円
第2期	
騰落率	11.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 中小型成長株オープン (愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)

追加型投信/国内/株式

作成対象期間：2014年9月5日～2015年3月4日

## 交付運用報告書

第2期(決算日 2015年3月4日)

 **岡三アセットマネジメント**  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

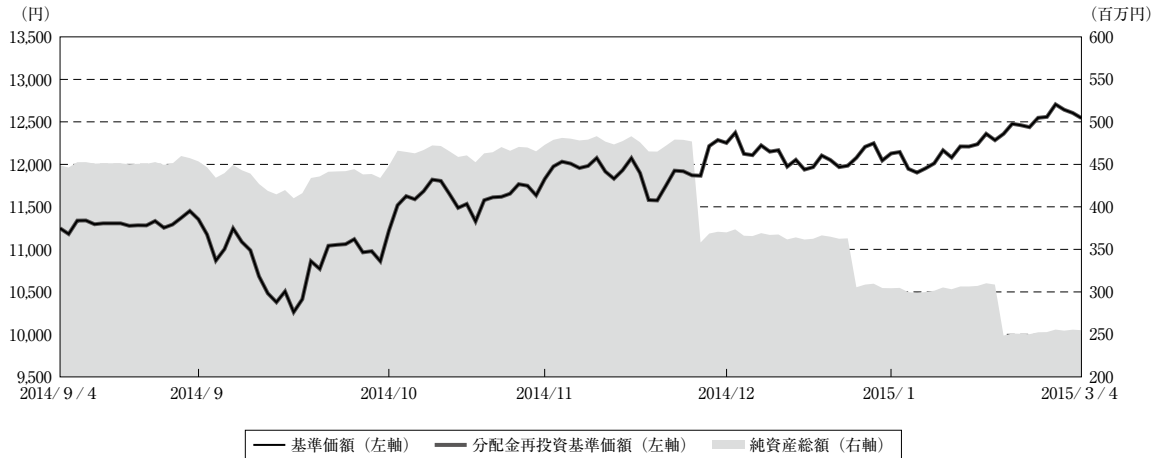
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2014年9月5日～2015年3月4日）



期 首：11,248円

期 末：12,544円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 11.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2014年9月4日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

（主なプラス要因）

主なプラス要因は以下の通りです。

- ・業種配分では、証券、商品先物取引業、不動産業、機械などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄ではF P G、日精樹脂工業、ファインデックスなどが基準価額にプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

主なマイナス要因は以下の通りです。

- ・業種配分では、その他製品、医薬品、情報・通信業などが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄ではフロイント産業、富士通ゼネラル、ディー・エル・イーなどが基準価額にマイナスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

（2014年9月5日～2015年3月4日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 80	% 0.669	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	( 48)	(0.400)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 29)	(0.242)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	31	0.258	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(株式)	( 31)	(0.258)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	1	0.006	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	112	0.933	
期中の平均基準価額は、11,915円です。			

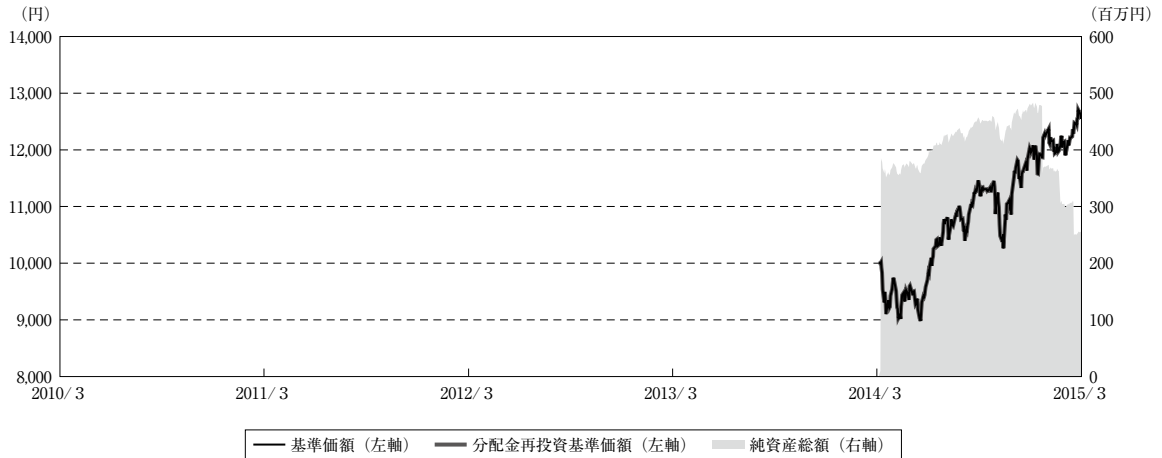
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年3月4日～2015年3月4日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2014年3月10日です。

		2014年3月10日 設定日	2015年3月4日 決算日
基準価額	(円)	10,000	12,544
期間分配金合計(税込み)	(円)	－	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	－	25.4
日経ジャスダック平均騰落率	(%)	－	15.4
純資産総額	(百万円)	10	254

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2015年3月4日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 日経ジャスダック平均は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

## 投資環境

（2014年9月5日～2015年3月4日）

国内株式市場は、世界景気見通しの下方修正などを受けて2014年10月中旬にかけて一時的に下落する場面もありましたが、円安による企業業績の上方修正期待や大手公的年金の国内株式投資比率拡大への期待などから、底堅く推移しました。10月末に日銀が決定した追加金融緩和策が市場の予想を上回る内容であったことから、株式市場は上値を追う展開となりました。12月後半以降は原油安や欧州政情不安などを受けてもみ合いとなりましたが、2015年1月中旬以降は原油価格の底打ちや欧州政情不安後退を背景に上値を試す展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2014年9月5日～2015年3月4日）

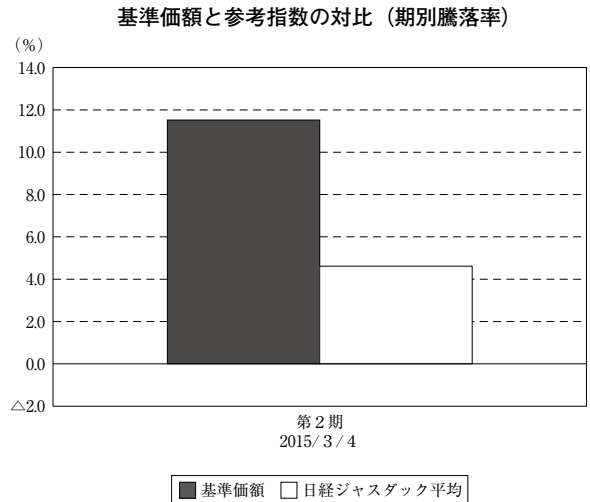
当ファンドの運用につきましては、高速データ処理向けソフトウェア開発で高い技術力を有するフィックスターズや、ヘルスケア事業の構造改革等により利益率の改善が期待される堺化学工業、たこ焼き業態に加え、たい焼き業態などマルチブランドでの出店加速により、中期的に事業が拡大すると考えられるホットランドなどを組み入れました。一方、好業績を受け短期間で株価が急騰したジャパンマテリアルや、再生可能エネルギー発電の送電線への接続申請に対して電力会社が回答を保留したことで業績面に悪影響が出ることを懸念して、ウエストホールディングスを売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年9月5日～2015年3月4日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）参考指数は日経ジャスダック平均です。

## 分配金

（2014年9月5日～2015年3月4日）

当ファンドは、毎年3月4日及び9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、委託会社が基準価額水準、配当等収益等を勘案のうえ分配金額を決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

当期の収益分配につきましては、基準価額水準が当初元本を上回っておりますが、信託財産の成長に重点を置くこととし、見送りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

### （分配原資の内訳）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第2期
	2014年9月5日～ 2015年3月4日
当期分配金	-
（対基準価額比率）	-%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,545

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

国内株式市場は、上昇トレンドにあると考えております。日銀による緩和的な金融政策や政府の経済対策により国内景気の回復が期待されるほか、円安などを背景に企業業績の改善が続くと見込まれることが株式市場をサポートすると考えております。また、日銀によるETFの買入れや年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の国内株式への投資比率拡大計画などが、需給面で株式市場を支えることが期待されます。また、銘柄物色の裾野拡大も予想され、これまで主力大型株に出遅れていた小型株や新興市場株の見直し買いが進むと考えられます。当ファンドの運用につきましては、高い技術力や優れた商品開発力、特徴のあるビジネスモデルで市場を創造し、事業拡大が可能と考えられる銘柄や、事業構造改革などにより利益率の改善が期待される銘柄などを組み入れていく方針です。

## お知らせ

法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）

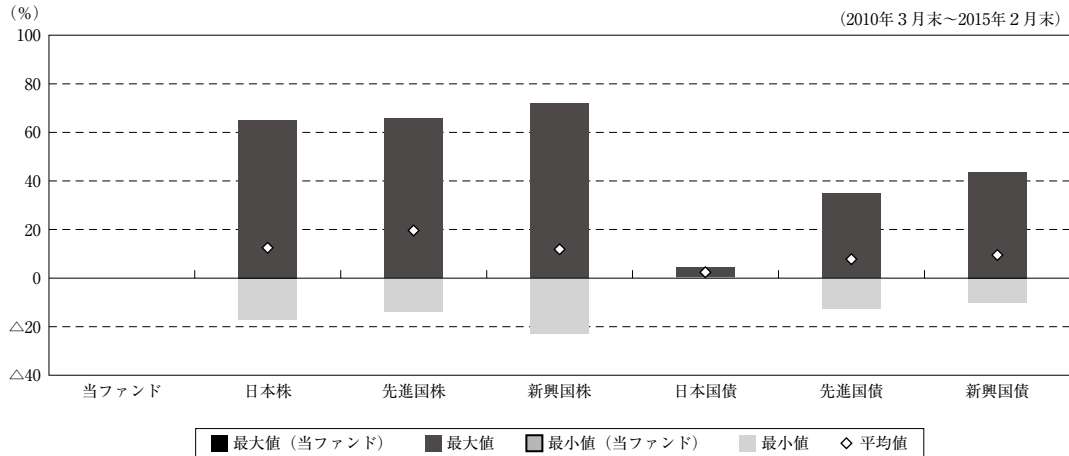
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2014年3月10日から2024年3月4日までです。
運用方針	主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
運用方法	株式への投資にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、飛躍的な成長が期待される企業の株式を選別します。 株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	年2回、3月4日および9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。



（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	65.0	65.7	71.8	4.5	34.9	43.7
最小値	-	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	-	12.5	19.6	11.8	2.4	7.8	9.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年3月から2015年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2015年3月4日現在）

#### ○組入上位10銘柄

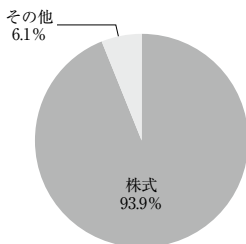
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	FPG	証券、商品先物取引業	円	日本	5.6
2	山一電機	電気機器	円	日本	5.0
3	あい ホールディングス	卸売業	円	日本	4.7
4	大豊建設	建設業	円	日本	4.3
5	オープンハウス	不動産業	円	日本	4.3
6	ホットランド	小売業	円	日本	4.0
7	日本BS放送	情報・通信業	円	日本	4.0
8	ファインデックス	情報・通信業	円	日本	3.9
9	青木あすなろ建設	建設業	円	日本	3.5
10	デジタルガレージ	情報・通信業	円	日本	3.3
組入銘柄数		32銘柄			

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

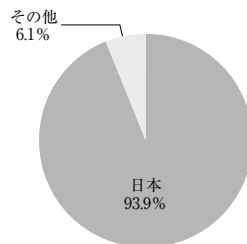
（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

（注）国（地域）につきましては発行国を表示しております。

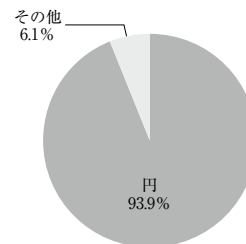
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

### 純資産等

項目	第2期末
	2015年3月4日
純資産総額	254,926,929円
受益権総口数	203,230,667口
1万口当たり基準価額	12,544円

\* 期中における追加設定元本額は26,636,503円、同解約元本額は222,511,541円です。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。